

医療専門職派遣事業を活用した多職種連携

OT相談 and オプトメトリスト相談



作業療法士相談

月1回、鈴木作業療法士が来校し、生活面や学習・作業面、余暇等について作業療法の視点から、一人一人のニーズに応じた指導支援について、御助言をいただき、本校の教育活動に活かしています。さらに、本校の理学療法士とも連携を図りながら実践を深めています。



☆相談内容☆
お箸について

○助言○

エジソン箸やばね付き箸等、児童生徒の手の発達や環境に応じて選択する方法について

☆相談内容☆
感覚ニーズについて

○助言○

感覚プロフィールというアセスメントツールを活用しながら児童生徒の感覚の特徴を把握し、支援の方法を模索する方法について

☆相談内容☆

身体の動かし方について

○助言○

身体の動きを見ていただき、生活や学習場面で実践できる運動について

オプトメトリスト相談

6月、9月にの富永オプトメトリストが来校し、視機能や視覚認知など、「見る」機能の視点からのアセスメントについて御助言をいただきました。どの学習においても「見る」機能は特に重要です。助言をいただきながら、よりよい指導を考えるきっかけをつくっています。



☆相談内容☆

目だけ動かそうとしても頭が動いてしまうことについて

○助言○

目と頭の分離した運動が苦手な場合が多いです。目と頭を一緒に動かしながら、追視する練習を行い、少しずつ目と頭の分離した動きを獲得することが必要です。

☆相談内容☆

ひらがなを書くための支援について

○助言○

子どもたちはひらがなを書く前に、文字に触れたり、本を読んだりする経験が必要です。それと同時に、白紙に自由になぐり書きしたり、線なぞりをしたりしながらひらがなを書く準備を行っていくことも必要です。

☆相談内容☆

あちこち気になり、集中して課題に取り組めないことについて

○助言○

集中して課題に取り組めない原因が、眼鏡が本人にあっていないことや、眼球運動が難しいことからきている子供たちもいます。そのような子供には、眼科や視機能トレーニングセンター等を受診して視機能を見てもらうように勧めています。

